

令和4年度 第2回基幹相談支援センター運営委員会 概要

日 時：令和4年12月14日（水）18：00～19：30

場 所：オンライン

出席者：11名 運営委員：近藤委員、荒川委員、金澤委員、
灰野委員、児玉委員

（事務局：障がい福祉課2名、ワン・オー4名）

次第

- 1 令和4年度の事業報告について、ワン・オールから報告と質疑応答
- 2 基幹相談支援センターとしての中立性、業務の進め方、業務内容に関する各委員からの意見

扱われた内容（令和4年度事業報告に準じて報告）

・個別相談支援業務

⇒ 個別相談支援の実績や傾向について報告。

・委託相談支援事業の支援業務

⇒ 新任職員研修、共催研修の概要について報告。

⇒ 各区の指定と委託の意見交換会での取組み共有について報告。

・計画相談支援の推進業務

⇒ 計画相談マニュアル再改訂（前年度改訂からの修正）への協力

⇒ 計画相談支援の質と運営の両立のための提案資料検討について報告

・地域相談支援の推進業務

⇒ 地域相談支援マニュアル改訂（令和3年度報酬改訂を反映）と別冊作成への協力について報告。

⇒ ピアサポーター活用事業については、実績や傾向、指定一般相談支援事業所と精神科病院への周知活動について報告。

・障がい当事者による相談支援活動の支援業務

⇒ ピアサポーター配置事業所意見交換会では、オンラインでの活動報告や意見交換実施について報告。

⇒ ピアサポーター交流会の開催状況について報告

・札幌市自立支援協議会の事務局業務

⇒ 事務局業務および地域部会参加について報告。

・誰もが住みやすいあしんのまちコーディネート業務の推進と周知活動

⇒ 町内会支援の一環として周知動画公開とDVDの配架、周知活動について報告。

⇒ 個別避難計画作成への関わり、各区に配置されている地域支援員との連携について報告。

等

運営委員からの意見

<委託相談支援事業の支援業務、計画相談支援の推進業務に関して>

- ・相談支援従事者研修現任研修インターバル課題対応や加算取得に必要な事例検討など、基幹相談支援センターと委託相談支援事業所の役割分担を再考していく必要があるのではないかな。
- ・各区の指定と委託の意見交換会にて、引継ぎや連携が進むよう、推進役としての役割を担ってほしい。

<地域相談支援の推進業務、障がい当事者による相談支援活動の支援業務に関して>

- ・ピアサポーター活用事業について、地域移行の推進に合わせて、地域のニーズも把握しながら、対象者拡大についても検討できると良いのではないかな。
- ・ピアサポーター活用事業の業務を通して、配置事業所のピアサポーターと連携をしていくことで、双方の事業の促進にも繋がるのではないかな。

<自立支援協議会の事務局業務に関して>

- ・相談支援部会議事録について、要点のみをまとめるなどでよいのではないかな。
記録の負担軽減により、迅速な記録の提供につながるのではないかな。
- ・協議会事務局としてだけでなく、協議会構成員の基幹相談支援センターとしての提案や意見を発信してほしい。また、他構成員と、事務局と構成員としての立ち位置の違いも再確認できると良い。

<誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート業務に関して>

- ・委託相談支援事業所に配置されている地域支援員と地域を繋ぐような役割を担ってほしい。何カ所の地域支援員との連携を目指していくか、数値化もできると良い。

<その他>

- ・効果的な普及啓発として、SNSを活用した情報発信についても検討できると良い。
- ・障がい児相談に係る相談員の人材育成を意識した、専門性のある研修の実施についても進めてほしい。
指定相談支援事業所も含めて考えると、法定研修等での人材育成が必要になるのではないかな。
- ・事業を進めていく中で、ワン・オールと同様の取り組みを行っている機関等があれば、地域や事業所のニーズを把握し、調整を行っていく必要もある。
- ・様々な人や機関を頼り、活用し、力を発揮してもらおうような場面も作りながら、事業を推進して欲しい。